

福祉情報誌

暮らしに役立つ、ちょっとわくわくすることがある、そんな情報を贈ります。

平成20年4月22日(毎週火曜日)増刊 AJU通巻8447号

昭和54年8月1日低料第三種郵便物認可

発行所/東海身体障害者団体定期刊行物発行協会
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター4F

AJU自立の家

第93号

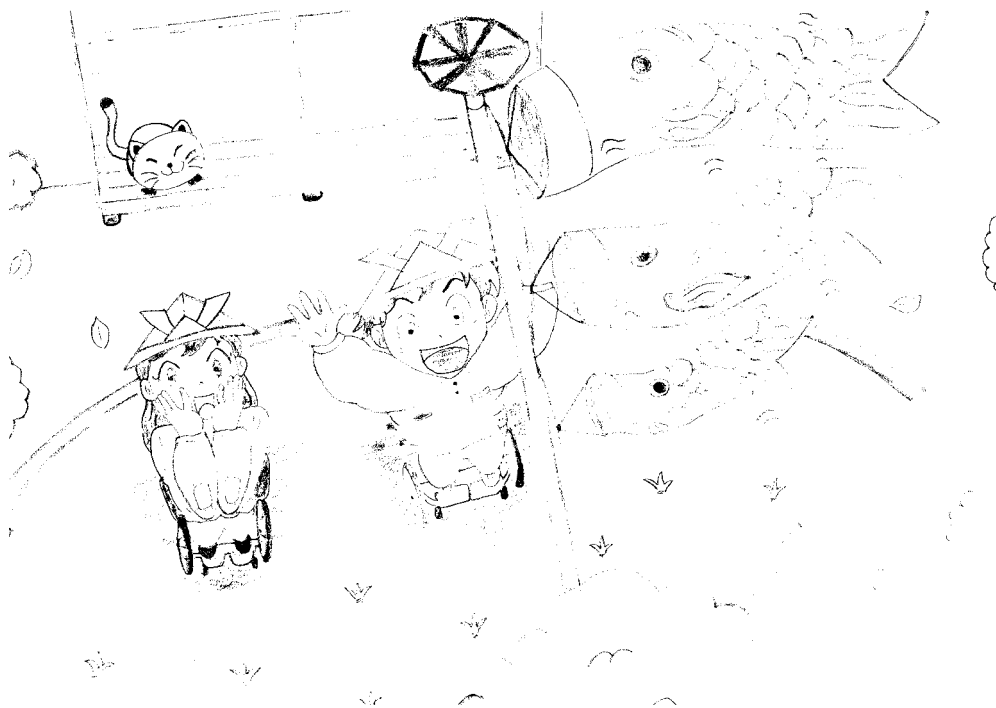
2008年4月20日号

定価250円

編集/社会福祉法人AJU自立の家
福祉情報誌発行委員会
発行/AJU車いすセンター
わだちコンピュータハウス
連絡先/〒466-0025
名古屋市昭和区下柳町1-3-3
わだちコンピュータハウス内
TEL (052) 841-9888
FAX (052) 841-1015
E-mail: f-joho@aju-ci.com

テーマ

あなたの声に こたえます。



絵 平良隆志

はじめの一步をふみだしたあなたへ

- | | |
|---|--|
| ●進学おめでとう特集
もうすぐ北京だ! スポーツ編…………… 1
春だ! あたらしいことをはじめよう!
自立生活体験室…………… 6
ひと・活動紹介
社会を変えたい! 当事者運動編(前) …… 9 | ●グルメな調査隊 第54弾…………… 19
琉球ダイニング どなんちルーセント |
| ●生活の道具相談室…………… 11
レクリエーション | ●福祉用具のリサイクル情報…………… 20 |
| ●かつきのページ…………… 13 | ●読者のこえ…………… 21
読者アンケートへのご意見 part1 |
| ●旅の空から…………… 14 | ●いろいろ情報…………… 23
カキツバタ/バラ/アジサイ
地域福祉セミナー/ウェルフェア2008
ゆうび福祉タクシー 他 |
| ●トラベル情報…………… 17
最北の島へ 利尻・礼文4日間
縦断・初夏の九州4日間
萩・津和野めぐりの旅3日間
ロシア・フィンランド・ストックホルム8日間
他 | |

この人に聞く もうすぐ北京だ！スポーツ編

～ ボッチャで世界をめざす加藤啓太さん ～

でっちゃんです。は～い。さて今回は、『進学おめでとう特集』ということで、さまざまな分野で活躍されている障害当事者の方を紹介していこうと思います。まず最初にスポーツ編。1992年のバルセロナ・パラリンピックから正式競技となった「ボッチャ」(*1)で世界をめざしている加藤啓太さんです。啓太さんは、私と同じ脳性麻痺で日常生活においてすべてに介助を必要とし、言語障害もあります。「養護学校時代ははじめは何も取り組めるスポーツがなく、体育の授業の時にただその場所にいるだけの存在でした。」という。そんな啓太さんにでっちゃんがせまります。



(*1)ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのカラーボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。障害によりボールを投げるができなくても、勾配具（ランプス）を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加できます。競技は男女の区別なくBC1～BC4のクラスに別れて行われ、個人戦と団体戦（2対2のペア戦と3対3のチーム戦）があります。

日本ボッチャ協会より

啓太さんのプロフィール・経歴

<現在>

ボッチャ世界ランキング：個人は最重度なクラス（BC3）で日本人史上最高位の19位。
国内では、日本選手権ベスト8は3回、ベスト8で争う大会「JAPANCUP」3連覇中。

<身体状況>

脳性麻痺。介助は、（起床・就寝、着替、食事、トイレ、入浴、夜中の寝返りなど）が必要。移動は電動車いすを使用、会話は文字盤を使用。

<略歴>

- 名古屋養護学校 高等部卒業
- 現在、日本福祉大学
社会福祉学部
社会福祉学科3年
- 大学近くに下宿
（ひとり暮らし）

<http://homepage2.nifty.com/boccia-keita-athlete/>



まずは、現在の生活についておききます。

Q:週に何日大学に通っているのですか？また、家は何時にでて、何時ぐらいに着きますか？

A:週に4日から5日、通っています。生協学生委員会という組織に属し活動しています。講義によって出る時間も異なりますね。スケジュールも時期によって変わってきます。会議があると帰りが9時とかになりますね。

Q:大学生活はどんなことがたのしいですか？

A:ゼミとか友達と一緒に徹夜したり、飲んだり、テストの悪あがきしたり・・・。

Q:大学内の介助はどうしていますか？

A:ノートテイクや食事、排泄介助などの介助が必要で友達がやってくれます。

Q:普段、家での介助はどうしていますか？

A:自立支援法の重度訪問介護サービスを利用しています。

Q:支給量は足りていますか？また、利用者負担額は負担になりませんか？

A:支給量は足りています。利用者負担額については、学生のうちは親に払ってもらっています。

次に養護学校時代についておききます。

Q:養護学校時代、ボッチャと出会う前は、どんな学生でしたか？



A:スポーツ観戦が、好きな学生でした。特に野球を観る事が大好きでした。しかし自分自身で取り組めるスポーツが何もなく、体育の授業はただその場所にいるだけの存在でした。

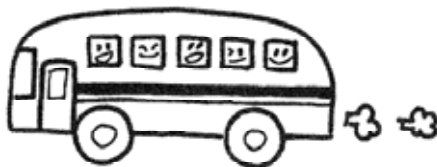
Q:私たちの時代、養護学校の体育授業は、ゴロ野球、ゴロバレー、ゴロハンドサッカー、ゴロホッケーなど結構、盛り上がっていましたが、啓太さんの時代、体育の授業はどんなことをやっていたのですか？

A:僕らの時代も同じでした。でも、自分がいなくてもいい存在でした。

Q:養護学校時代にやりたかったことはありますか？

A:学校へはスクールバスで通っていました。でも本当は自力通学がしたかったです。しかし、僕が通っていた名古屋養護学校は非常に過保護で、「もし通学

中に事故があるといけなから…。」とか「人に迷惑を



かけるといけなから…。」など自分的には納得がいきませんでした。なぜなら事故などしていたら何も行動に移せないと思いました。

では、大学進学についておききます。

Q:大学へ行こうと思ったのはどうしてですか？

A:高等部入学当初から「大学に進学したい。」という強い願望がありました。コンパなど、いろいろ経験したかったからです。

Q:大学進学する(ひとり暮らし)に当たって、周囲の反対はどうでしたか？

A:両親は、反対しませんでしたね。周りは心配しましたが両親は今しかできないし障害があるからどうということはありませんでした。

Q:啓太さん自身、不安はありましたか？

A:あまりなかったです。僕が進学する意思を、両親や学校の先生に伝えた時、誰もが無理だと感じたでしょう。大学など絶対に合格できないと思われていました。無理してやらなくてもいいという声もありました。しかし自分の思ったことをしたかったのです。自分のニーズにあった受験方法を探そうと思い、インターネットや大学案内で探した結果、自分を最大限アピールして受験できるAO

入試を見つけました。高校三年生の夏休みが一番辛かったです



が、諦めずに受験に取り組みました。投げ出したいときもありました。AO入試というのは、論文と面接試験があり、特技や資格、高校で打ち込んだことや社会活動なども評価してもらえます。僕はボッチャの普及活動についての論文を書きました。

Q:大学側に何か配慮を頼みましたか？

A:面接時間を1.5倍にしてもらいました。

Q:一人暮らしする家はどのような条件で探しましたか？

A:広くて車椅子でも動けるところ。

予算 4万5千

改造OKというところ。

改造したところは、玄関にスロープを付け、お風呂、たたみの部屋をフローリングにしました。

いよいよ、ボッチャについて おききます。

Q:ボッチャと出会ったきっかけは何ですか？

A:中学2年の時、区のお楽しみ会の時に僕がボール遊びを楽しくやっているのをみ



て、クラスメイトお母さんに「ボッチャをやってみない？」と誘われました。

Q:ボッチャと出会ってからは何か変わりましたか？また、どうしてパラリンピックを目指そうと思ったのですか？

A:最初は「遊び」感覚でみんなとわいわいゲームすることを楽しんでいただけでした。しかし、次第に「もっと強くなりたい。」と思うようになり、自分の力を試合で試してみたいと思い、大会に出場したいという意欲がでてきました。そして、日本選手権など様々な大会に出場してきました。そのなかで僕は、日本で一番の実力者が自分より遥かに重度の障害を持った人であることを知りました。彼はパラリンピック出場



を目指しており、両親から離れ一人で暮らしていることをききました。僕は「さすがパラリンピックを目指している人は違う。いろいろなことにチャレンジしている。彼を目標に努力すれば

自分も日本のトップクラスの選手になれる！」と思いました。そのころは僕にとって彼は目標であり、身近なライバルでした。しかし、3年前に彼は引退してしまい、今のライバルは、現在日本で1番2番かの実力・実績がある選手です。この人とは、ボッチャ以外のことで互いに相談したり、バカを言い合ったりできる関係

です。ただ、ボッチャのときだけは「絶対自分が勝つ！」と言い張っています。お互いこれからの「国内大会の決勝は、僕らでやろう。決勝まで勝ち残ってきてよ。思いっきり倒してあげる。」と…。絶対二人で、4年後のロンドンのコートに立ちたいです。

Q:ボッチャのおもしろさはどこですか？

A:障害の程度に関係なくできるスポーツです。ボッチャをしている時、僕は介助者（以下 アシスタント）を通して自分の意志を100%表現できます。それは僕にとって「生きていることを実感」できる瞬間です。ボッチャのボールを投げるとき、僕は「とい」のような形をした「ランプス」という補助具を使います。アシスタントに「上」「下」「右」「左」という指示をし、

ランプスの方向を決めてボールを投げるのですが、その指示は僕にしかできません。思い通りの位置になるまで、細かい指示を繰り返します。やりはじめた頃は、プレイを成功させ、みんなから「やっぱ啓太！この攻めは啓太にしかできないね。」と言われたときは「やったー！」と飛び上がりたくなります。この瞬間は、僕にとって最高に幸せな時間でした。でも、今は少し違います。どんな時でもあたりまえのプレイが確実にできることに力を注いでいます。あたりまえのプレイができなかったら、いくら難しいプレイができたとしても意味がありません。一番のおもしろさは、最後の最後まで勝負がわからないところです。



Q:どんな練習をしているのですか？

A:ボールを寄せる練習と引く練習です。ランプスの角度にこだわります。

Q:1日何時間ぐらい練習するのですか？また、いつ、どこで練習するのですか？

A:大会前は1日5時間ぐらい練習します。週に1, 2回、実家に帰って、父が休みの日に練習

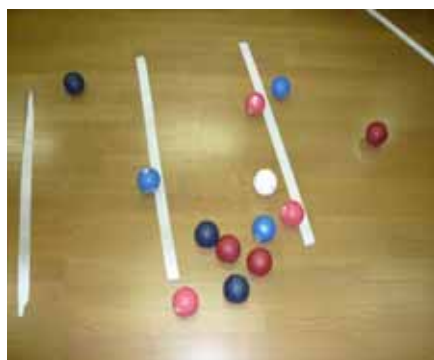
します。他に競い合える選手が身近にいないのが辛いです。

Q: 勾配具 (ランプス) に何か工夫をしていますか？

A: 現在のランプスにはお金かけてひとつ 11 万くらいです。ボールも 50 個の中から 13 個を慎重に選んでいます。日本製、ポルトガル製のボールなど競技状況によっても使い分けています。

Q: ボールも微妙にちがうのですか？ また、何を基準に選ぶのですか？

A: ボールの選び方は転がる音、回転、硬さ、受容性を深く考えた上で選びます。ボールを 100



回位転がしてみ決めてます。

Q: 競技中にアシスタントとの意思疎通はうまくいきますか？

また、何か工夫をしていることはありますか？

A: アシスタントへの指示は、身振り、手振り、言葉、すべての手段を使います。そして、ひたすら練習です。アシスタントも技術を磨きます。現在アシスタントを募集中です。

Q: 大会などの遠征費用、介助者は、どうしているのですか？

A: 遠征費用は年間 150 万くらいかかり、自分の後援会をつくりました。皆さん後援会へ是非ご入会下さい！ 応援よろしくお願いします。介助者は、競技アシスタントと兼ねてやってくれます。技術いるので何人もいません。大学の友達がやってくれています。時にはコーチも手伝ってくれます。海外遠征で長い時だと 2 週間に



およびます。来年のアジア大会に出場予定です。

Q: 『これからボッチャをはじめたい！』という人はどこに問い合わせをすればいいですか？

A: まずは体験からですね。僕のところにメールしてください。

E メール victory-chance.boccia@nifty.com

最後に

Q: 将来の夢は何ですか？

A: 社会福祉士と 4 年後のロンドンパラリンピックで、金メダル！

Q: 障害を持つ学生にアドバイスをお願いします。

A: なんにでもチャレンジしてください。



取材を終えて。〔でっちゃん〕

そういえば、私は 20 年ぐらいいスポーツから遠ざかっているなあ。養護学校時代、施設時代

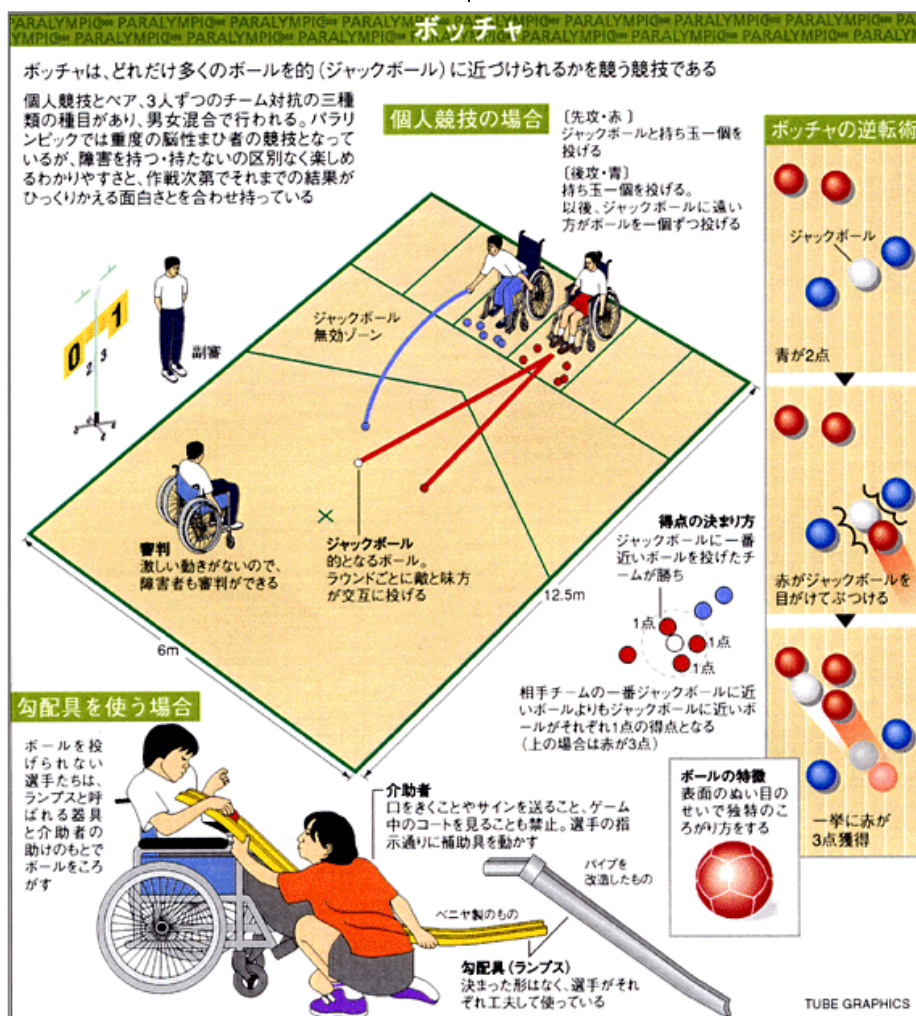


には、ゴロバレーなど楽しんでいました、私の場合、若いときは車いすを使用していなく、歩行はできていましたが…。それでもボールを止めるのに精一杯で、攻めは他の人にやってもらっていました。「もっと重度の人にとっては、必ずしも自分の意志と違うところで動いていたかもしれないなあ。」と改めて気づかされました。啓太さんが言うようにボッチャはアシスタントを通して自分の意志でできるスポーツですね。また、ボッチャだけでなく「自らがしてみたいことはチャレンジしてみる。」そんな気持ちを持ち続けたいですね。さあ！春だ新しいことをはじめよう。

★ 4月11日 発売
『Go Forward! KEITA』
～重度障害者も大学生になれるんだ！～
加藤啓太/太陽書房/1,596円(税込)

★ボッチャ・加藤啓太君後援会
会長 有本征世
事務局 アイディアC体創で0才からの健康づくり NPO 法人けんこうのわ碧の木内
〒447-0815
所在地 碧南市棚尾本町1-55
TEL 0566-42-8238 FAX 0566-42-8333
Eメール yukiyo@katch.ne.jp
募金・後援会ご入会
会費 年会費 1口 1,000円
1口以上を下記郵便局指定口座までお振込みいただきますようお願い致します。
後日、ニュース・詳細報告などお便り申し上げます。
口座番号 00880-9-150104
加入者名 ボッチャ・加藤啓太君後援会
◆通信欄に年会費口数又は募金の別をご記入下さい。
◆払込取扱票(青色)は振込手数料 要
◆払込取扱票(赤色)は振込手数料 不要

◎日本ボッチャ協会ホームページ
<http://boccia.gr.jp/index.html>
「ボッチャってなに？」



春だ！新しいことをはじめよう。

読者の皆さんこんにちは。今回は「克己のおまかせ情報」ではなくタイトルにもある通り、進学、新生活がはじまって、そして「何かしてみたいんだけど自信がない。」「ひとり暮らしを体験したい!」と思っている人たちへ、「自立生活体験室」を紹介します。この事業は、重度の障害を持つ者が福祉ホームサマリアハウスの一室を利用して、今までの生活で経験したことのないこと（例、映画や買い物に行く、介助者に指示をして料理を作る等）を体験プログラムを通じて、自分自身について新しい発見をしてもらい、新たな人生のスタートをしてもらうことを目的とした事業です。



克己のプロフィール：現在名古屋市内でひとり暮らし。愛知県重度障害者の生活をよくする会に所属し、福祉情報誌発刊当初から編集委員を務めています。障害は脳性マヒで、電動車いす利用者です。

「自立生活体験室」とは…。

地域での自立生活を目指し「自分らしい当たり前」の暮らしづくりの第一歩。施設で暮らしている障害者にとっても、在宅で暮らしている障害者にとっても、介助の問題は避けて通ることはできません。そして、施設でも在宅でも主たる介助者の一日のスケジュールにあわせて、生活の流れがいつのまにかパターン化されがちです。

施設の場合、起床時間から、衣服の着脱、食事の時間、入浴の回数、就寝時間まで一日の流れが、職員の都合で決められていたりします。在宅の場合は施設のように起床時間や就寝時間が決まっているわけではもちろんありませんが、主たる介助者である親の都合にあわせるしかなかったりもします。そういう状況から障害者が抜け出すのは簡単ではありません。衣食住は保障されているわけで、ある程度一定の生活が長く続くと、制約のある生活に慣れてしまいがちなのです。「でもこんな生活で自分の人生いいのかな?」ということを感じた人が「清水の舞台から飛び降りる!」ような気持ちで自立生活体験室に挑戦して、これまでに約200名の方が、自分らしいライフスタイルを見つけ出し、地域での当たり前の生活をする第一歩になっています。

どこにあるの？

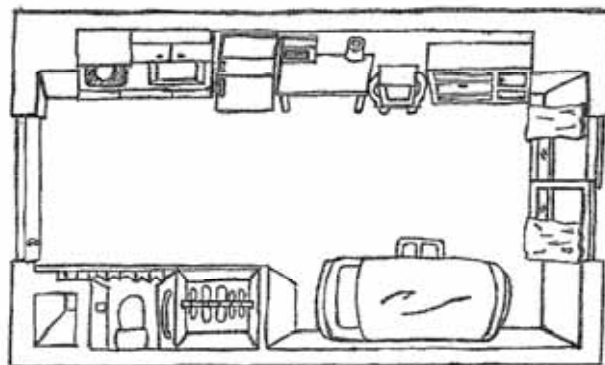
名古屋市昭和区恵方町2-15

サマリアハウス内自立生活体験室

部屋の広さは？

18 平方メートル

【間口：3メートル 奥行き：6メートル】



どれくらい利用できるの？

1泊2日から概ね3ヶ月間

利用定員：1名

サポート体制は？

コーディネータ 1名

生活支援員 1名

プログラム

コーディネータが、体験希望の方の希望に添い、相談の上、状況に合わせたプログラムの作成と実

施をします。

入浴、排せつ、食事等、日常生活上の介助
 自立生活に対する相談・アドバイス
 心理面でのサポート

(ピアカウンセリングの活用)

上記に添って・非日常的な生活の体験の場を提供

- とにかくやってみるコース
- 楽しいことを知るコース
- 未経験なことをするコース
- 夢や希望を体験するコース
- 自立生活・一人暮らしを目指すコース
 などのプログラムを用意します。

利用するには、いくら必要なの？

名古屋市内にお住まいの方で、在宅の方及び入所中の方の場合は、

- 実費
- 給食サービス利用の場合
 昼食・夕食各 500 円
 (但し、日曜・祝日の給食はありません)
- 個人で使用する物の費用
- 光熱水費 1日 200 円
- サービスの自己負担額 (一割負担)

名古屋市外にお住まいの方で、在宅の方及び入所中の方の場合は、上記の実費・給食サービス・個人で使用する物の費用のほか、

500 円／1 泊 (光熱水費を含みます。)

介助料 (100 円／1 時間) が必要となります。

詳しくは、8 ページの申込・問い合わせ先まで、ご連絡ください。



どんな人が利用できるの？

- 学校卒業後、何をしたいのか見つからない人
- 楽しい経験をしたことがない・したい人
- 長い間、病院や施設で生活をしている人
- 家族とずっと生活をしている人
- 自立を目指している人

利用開始から終了までの手続きは？

①利用相談・問い合わせ

TEL・メール・FAX など

②見学

③申し込み (持参・郵送どちらでも可)

必要書類

申請書・身上調査票

介助内容表

体験スケジュール表

受給者証/事業者記入欄別冊 (*1)

申請書類は必要に応じて一式を送ります。

④面接

体験の目的・介助状況の確認

利用期間中のスケジュールづくりなど

*面接後、連絡・相談は随時おこないます。

⑤契約

サービス事業所との利用契約 (*1)

⑥利用開始

⑦体験室利用実施

⑧振り返り & アセスメント

⑨利用終了

利用方法

利用を希望される方は、身体障害者自立生活体験事業係まで直接お問い合わせください。

自立生活体験室サマリアハウスと契約していただきます。但し、在宅生活の方はサービスの支給決定（短期入所）が必要です。（*1）

（*1）注意

名古屋市内にお住まいの方で、在宅の方及び入所中の方の、「身体障害者自立生活体験事業」としての利用となる場合に限りです。

申込・問い合わせ先

社会福祉法人A J U自立の家 サマリアハウス

身体障害者自立生活体験事業係

〒466-0037

名古屋市昭和区恵方町2-15

TEL (052) 841-5554

FAX (052) 841-2221

Mail: taikensitu@aju-cil.com

利用した方の声

そこで、何人かの方に質問をしてみました。

Q：体験室に入る前に不安はありましたか？

- A：
- 最初のうちは何をしたいのかわからなかった。
 - 介助者への依頼がうまくいかなかった。
 - 生活費がどのくらいかかるのか、わからず不安だった。
 - 施設とは違って体験室での生活は1日の生活の流れが決まっています。それだけに何をするか自分で決めなければいけなく戸惑いました。

Q：体験室で楽しかったことは何ですか？

- A：
- 買い物など、行きたいところに自由にいくことができた。
 - 食べたいものが食べられた。
 - 新しい出会いがあった。
 - コーヒーメーカーで淹れたコーヒーを飲んで、1人で自由な時間を満喫した。

Q：体験室を出た後、生活に変化はありましたか？

- A：
- 障害者運動に参加したり、仲間をサポートしたり、趣味の車いすダンスに参加したり…。施設にいたころとは全然違います。
 - 体験室前・体験室後で180度変わった。
 - 自分らしい当たり前の暮らしを送っています。

Q：将来の夢、今後やりたいことは何ですか？

- A：
- 仲間のサポートを続けたい。
 - 先輩に続いて障害者運動に取り組みたい。

Q：これから自立生活体験室に挑戦したい人へのメッセージをお願いします。

- A：
- 現在名古屋市はヘルパー制度も充実してきたので自分の可能性を試してください。
 - 食べたいものが食べられるよ。

（施設を出て体験室に挑戦された方で、現在は福祉ホームに入居している方、および、地域で暮らしている方です。）

まとめ

ひとり暮らしは、もちろん楽しいことばかりではありません。介助者への介助依頼のしかた、体調管理、3度の食事のメニューを考えること、一日の過ごし方を考えるなど…。苦労もあるわけですが、自己責任の下で生活が組み立てられる、自分自身が選択し自己決定ができるわけです。利用した方の声をきくと、一度しかない人生、他人任せではない、地域で暮らすきっかけになっていることがわかりいただけると思います。また、体験後には、自分にしか伝えられないこと、自分しかなできないことを見つけて、皆さん自分なりの人生を歩んでいるのを感じました。

障害があるから、何もできない人、かわいそうな人、保護される人ではなく、それぞれが自分の可能性を持っているということを気づいて欲しいと思います。誰もが今まで体験したことのないことを実行に移すのは、勇気がいります。でもそこで一歩を踏み出すことで、今まで想像も出来ない毎日が待っているものですよ。迷っている人は「自立生活体験室」に挑戦してほしいと思います。

社会を変えたい！ 当事者運動編

平山晶士さんに聞く（前編）



1970年代初頭（みなさんの中には生まれていない人もいますね）、当時名古屋市内のデパート、駅、役所など公共施設に車いすで利用できるトイレはありませんでした。街の中は段差も多く、利用できる公共交通機関もないため、車いすで外出することはとても大変でした。1973年、車いすの仲間たちが集まって、名古屋市で「愛知県重度障害者の生活をよくする会」は発足しました。公共施設に障害者用トイレの設置運動や、「街に出掛けよう！」と様々な取り組みが始まりました。それから30年以上が経過しました。私たちの生活は大きく変わってきています。そこには当事者運動がとても大きな役割をしています。でも、若い人たちは当事者運動ということばを聞いたことがない人もいるかもしれませんね。そこで「これからも当事者運動を続けていく」と、西に東に飛び回る平山晶士さんに当事者運動にける想いを聞きました。

（ちか：関節リウマチ、電動車いす使用）

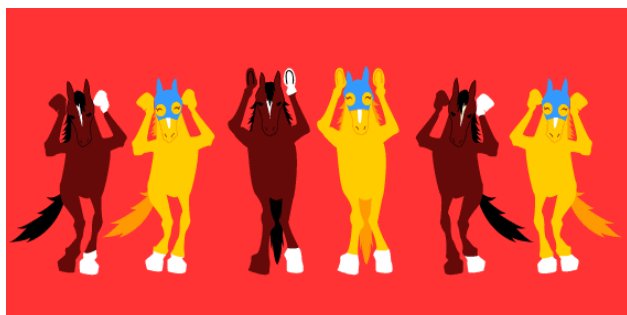
平山晶士(あきひと)さんのプロフィール

脳性マヒ。電動車いすを使用。月曜から金曜の夜3時間ヘルパーサービスを利用し、月3回程度は移動支援サービスも利用しながら岐阜で一人暮らししている32歳。

仕事は、社会福祉法人A J U自立の家わだちコンピュータハウスで、アンケートの集計やユニバーサル・デザイン、バリアフリー関連業務に携わっています。

社会活動として、愛知県重度障害者の生活をよくする会に所属し、建物や交通機関のバリアフリー運動や介助制度改善運動など様々な当事者運動に取り組んでいます。

好きなことは、旅、歴史、スポーツ観戦、競馬だそうです。



■当事者運動を始めたきっかけ

小学校・中学校は、岐阜にある岐阜希望が丘養護学校に通い、併設の希望が丘学園(訓練を受けられる施設)で過ごしました。高校は岐阜には養護学校と併設した施設がなかったため、名古屋にある名古屋養護学校にvari、第一青い鳥学園に入りました。

17歳のとき、学校から社会福祉法人A J U自立の家わだちコンピュータハウス(*1)(以下「わだち」)へ見学に行き、そこでA J U自立の家(*2)と出会ったのです。学校卒業後の集まりや車いす市民交流集会(*3)、わだちまつり(*4)などに参加していくうちに、愛知県重度障害者の生活をよくする会(*5)(以下「よくする会」)に関わるようになりました。

いずれは岐阜に帰って僕たちが「住める街にしたい」という思いを漠然と抱いていました。

■関西は公共交通機関のバリアフリーが進んでいた

22歳の時に福祉ホームサマリアハウス(*6)に

入居。その後、月2～3回ひとりで関西へ競馬やまち歩きなどに行っていました。梅田や難波など主な地下鉄の駅にはエレベーターが設置され、関西は公共交通機関のバリアフリー化が進んでいることに衝撃を受けました。当時、東海圏では名古屋の地下鉄さえも1～2割しかバリアフリー化が進んでいなかったの、車いすで公共交通機関を利用することは不便でした。東海圏でバリアフリー化運動が絶対必要と思い、よくする会でまちづくり運動に本格的に関わるようになりました。

■障害者運動って何だろう

サマリアハウスを出て「どうしようか」と先が見えずに悩んでいた24～25歳の頃、友人から立岩真也(たていわしんや)(*7)氏のホームページを紹介されました。これを見ていくうちに障害者運動の歴史に興味をもつようになり、また、このホームページから『障害者の機会平等と自立生活―定藤丈弘 その福祉の世界』という本を知り購読しました。これがきっかけとなりモヤモヤが切れて、障害者運動とは「何か」ということがわかりはじめたのです。それは障害者が地域で自立生活をするとはどんなことなのか、という自分への問いかけでもありました。定藤丈弘(さだとうたけひろ)(*8)氏や北野誠一(*9)氏は運動をしていく上でとても大きな存在でした。その他にも、愛知県で運動をしてきた先輩やDPI日本会議(*10)、JIL(*11)などの人たちに刺激を受けました。

■利用することが保障されなければ

定藤丈弘氏の本には、「福祉のまちづくり運動の最終目標は日本でもADA(アメリカ障害者差別禁止法)を作り、施設やアクセスの利用を保障していくことが必要」と書いてありました。

この本から「僕たちがやっているまちづくり運動」の最終目標は「利用保障、権利保障」だとはっきりわかりました。

しかし、僕ら障害者がお店に行ったり電車に乗ったりすることができるように整備することを、

「人にやさしいまちづくり」「福祉のまちづくり」といふことが使われますが、このことに次第に疑問を感じるようになりました。そんな時、川内美彦(*12)氏の講演が名古屋であることを知り聞きに行きました。彼はとてもわかりやすく「ユニバーサル・デザイン(*13)とは何か」を話しました。ユニバーサル・デザイン、すなわち誰もが住めるようにやっているまちづくりとは、自分なりに言い換えると、「人にやさしい」とか「福祉」と言わないという考え方になり、僕はそれまで抱いていた疑問が間違いではなかったと確認できました。

■当事者運動を必要と考える理由

2006年12月に障害者権利条約(*14)が国連で採択され、障害者が地域で生活すること、教育、労働を含む社会参加があたり前であると確認されました。2007年9月に日本も条約に署名をしています。それに関わらず、日本では、「障害者＝可哀想な人、保護してあげなければならない人」という考え方が根強いと感じます。この考え方を変えない限り、障害者権利条約を批准(ひじゅん)(*15)して、障害者差別禁止法ができて、それは絵に描いた餅でしかなく、自分らしく地域で暮らすことは実現しないと思います。現状を変えていくには他人任せではなく、当事者である自らが運動していかないと変わらないのです。社会を変えるには大きな力が必要です。一人の力には限界がありますが、一人ひとりが問題意識をもち、障害者同士が集まって運動することで、お互いの力が高められ、より大きな力となります。これから、ますます当事者運動の必要性が増してくると思っています。(次号につづく)

【おことわり】

本文中の注釈(*1)から(*15)については、続編を掲載する次号(94号)に集約させていただきます。次号をお楽しみにしてください。



レクリエーション



みなさんは、日頃の生活のなかで楽しみにしていることがありますか。いつもみているテレビ番組がある。友達と外食や映画を楽しむ。音楽を聴く。絵を描く。散歩をする。などなど・・・

今回は、レクリエーションを取り上げます。

担当 田原（作業療法士）

下に掲載したものは、昔からよくレクリエーションとして挙げられるものです。一人で楽しむもの、数人で楽しむもの、体を使って楽しむものに分けてみました。もちろんレクリエーションは、これだけではありません。

何かを集めるコレクションやショッピングも広い意味でのレクリエーションに含まれると考えることもできます。



一人で楽しむもの

読書	音楽鑑賞	絵画	楽器演奏	パチンコ
競輪、競馬	スポーツ観戦	テレビゲーム	パズル	手芸

数人で楽しむもの

トランプゲーム	カラオケ	麻雀	外食	野球
キャンプ	ハイキング	卓球	パーティー	ダンス

体を使って楽しむもの

スイミング	ゴロ野球	卓球	ボーリング	ユニカール
フライングディスク	ゲートボール	パターゴルフ	アーチェリー	ダーツ



レクリエーションのよいところは、楽しんだ後に身も心もリフレッシュするところにあります。レクリエーションを一週間の区切りにしたり、一年のイベントにすることで生活

にリズムをつけることができます。体が疲れてきたり、仕事がゆきづまったり、人間関係がぎくしゃくしてきたときにレクリエーションを楽しむと

多いに効果があります。

人間の体は、年齢とともに働きが衰えてきます。加齢だけでなく身体的な運動が自由にできなかったり、病気や外傷で後遺症をもつと体を自由に動かして楽しむスポーツ系のレクリエーションを敬遠してしまいます。そこでこれからの楽しい人生のためにも無理なく楽しく体をリフレッシュできるレクリエーションを見つけましょう。

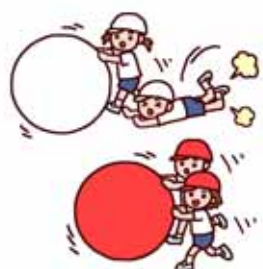
今年の初夏は、自分にあったレクリエーションをみつけに名古屋市障害者スポーツ大会に行ってみませんか？

大会は、午前中に陸上競技、フライングディスク競技があります。こちらは、申し込みが必要ですが、午後のレクリエーションは参加自由となっています。午後1時に陸上競技場に



集合です。陸上競技場のトラックを走ったり、大玉やボールを使ったゲームが予定されています。企画とゲストは、当日のお楽しみです。みんなで大きく体を動かして楽しみ

ましょう。大勢で楽しむと倍の力が発揮できます。思いがけない出会いもあったりしてわくわくどきどきの1日になりそうですね。レクリエーションは、自分から体を動かしたいという気持ちに自然にさせてくれます。広い場所、青い空の下にゆくと深呼吸や走りたくなる衝動にかられませんか？



第5回名古屋市障害者スポーツ大会

平成20年 5月18日(日)

瑞穂公園 陸上競技場

午前 9:30 総合開会式

午前 10:00～午後13:00

陸上競技・フライングディスク競技

午後 13:30～午後14:30 (予定)

レクリエーション

名古屋市障害者スポーツセンターHP「スポーツ教室等」
<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/shougai/sisetsu/shougai/>

問い合わせ 電話:052-703-6633

FAX:052-704-8370

以下に、体を大きく使うレクリエーションを楽しむ前のチェックリストを掲載しました。楽しいひと時を過ごすために参考にしてみてください。なお、初めて戸外で体を大勢で動かす方は、30分程度をめやすにしてください。できれば、ラジオ体操などで全身を動かす経験を日頃からしておくことをおすすめします。

- ☐ 眼鏡が落ちないように工夫しましたか。
- ☐ 帽子が飛ばないように工夫しましたか。
- ☐ 財布、携帯電話、手帳などの持ち物を最小限にしましたか。
- ☐ ベルト式のポーチなど携帯は、小さく身につけられましたか。
- ☐ 運動靴は、足首をガードできていますか。
- ☐ 運動靴のひもやベルクロが弱っていませんか。
- ☐ 靴底は、厚手ですり切れてしまっていないですか。
- ☐ 着替えやハンドタオル、スポーツタオルを持ちましたか。
- ☐ 膝、肘、足首、手関節などのサポーターをもっていますか。
- ☐ 湿布、ぬりグスリは、用意できましたか。
- ☐ 自分の平熱は、知っていますか。体温が高くなってきたら知らせることができますか。
- ☐ 水分補給のペットボトルや水筒を持ちましたか。
- ☐ 会場の場所やトイレの数、障害者トイレの有無は、調べましたか。
- ☐ 軽食の用意がありますか。

梅雨に入る前の過ごしやすい時期に、青空の下、適度な運動をして、ゆっくりと深呼吸してリフレッシュしてみてください。



同 級 生 その3

堤 剋喜

障子に穴を開けて遊ぶ。そうやって叱られたことはあるはずだが、僕は忘れてしまった。とはいえ、障子や襖に穴を作ったことは何回もある。ボールがそれたり、転びかけて手をついたり、開け閉めがうまくいかなかったり・・・そのたびに『失敗しちゃった。でも、わざとじゃないから許して。』という顔をしていた。

小学5年生の3月半ば、「雪の学校」という催しがあった。対象は障害児とその親。療育の専門家と、学生ボランティアも何人か同行した。シニア・ボランティアは？ その概念自体がまだ日本語になかった、と思う。主催者も一応、「普段の学校」(週6日制)に気を遣って予定を組んだらしい。土曜日の午後、つまり普通に登校して午前中の授業を受けてからでも間に合う時間帯に集合をかけ、バスに乗り、夕方までに雪のあるところ(確か長野方面)まで行って一泊。日曜日の午後3時くらいまで、雪の上で遊んで、宵のうちに帰宅。和室一つに、二組の親子が同室する部屋割りだった。到着早々、打ち合わせということで、親たちだけ別室に呼ばれた。

初めて会ったばかりの男の子と二人だけになった。僕よりも小柄。ということはだいたい年下。1年生かな。手も足も口も、僕よりも遙かに器用そう。僕には「健常児」と見えた。。おもしろいものはないかと思渡したが、普通の客室。冷蔵庫(説明を読んだら、「代金後払いの自動販売機」)、テレビ(百円玉投入口付き)あとは、懐中電灯ぐらい。おもちゃやトランプのたぐいはない。テレビをつけて、チャンネルを2, 3巡させる。いつも観ている番組を探し当てた。くもし、チャンネルを変えられても、文句は言わないでおこう。>

左から少し物騒な物音。一瞬あわてたが、ふっと緊張が解けた。楽しいことを見つけて、夢中になっている子どもの笑い声が飛び跳ねる。僕も引き込まれて笑い、男の子に向き合う。もうテレビ画面なんかはどうでもいい。男の子が障子の前に立ち、手の届く範囲の障子紙をどんどん押し破っていく。

「何てことをするの。この子は！ あんたも一緒にやったの？」男の子のお母さんが一足先に戻ってきて、進行形のいたずらが見つかった。強い口調にびっくりしながら、「いいえ、僕はやっていません」と答えた。「今から旅館の人に謝りに行こう。来なさい。」二人が出て行く。

部屋に一人残される。そうか。さっきは止めなきゃいけなかったんだ！「僕は障子に触らなかつた」と弁明できるだけのことで、共犯だと思い当たった。いたたまれず、廊下へ出て階段の方へ行きかける。「あれ。どこ行くの。ほかのお二人はどうされたの？」母だった。答えにくい質問から 逃げようとした。が、踊り場で、お二人と鉢合わせ。「旅館の人」=売店の店番。「売店に行くのはあとにしてお部屋で一服しましょう。」

部屋で、缶ジュースを手渡された。栓はすでに抜いてあった。1口含んだあと躊躇した。『柑橘系の酸味が苦手！』これはすぐ顔に出た。「あら。酸っぱかった？ ごめんね。うちの子は平気なんだけど。」男の子が笑い出した。

『こんなにおいしいのに。酸っぱいなんておかしいよ。ボクより大きいのに。』しゃくだし、残すのはもったいないので、どうにか飲み干したのか、どうかは定かでない。

寝る少し前、低くて小さめの声が聞こえた。「あの子は心臓に穴が空いている。」と。障子の大きな破れ目から、街灯や建物の明かりがたくさん見えた。2年ほどあと、「あのときの男の子が亡くなったそうだ」とだけ聞いた。

一晩だけのルームメイトで、一日だけ開校した「雪の学校」の同級生。顔はおぼろげ。服装は全然覚えていない。それどころか、名前も忘れてしまった。あるいは名前を聞かずに別れた。だから、男の子としか書けない。でも、笑い声は、耳の奥に残っている。



旅の空から

皆さん、こんにちは。いつも旅行情報を掲載していただいている（株）チックトラベルセンターの松本です。私はハートTOハートという部門で、障害のあるお客様専門の旅行を取り扱って12年目となります。

AJUとの関わりは、今の仕事に転職する前、三重県に住んでいた頃からボランティアで重度の障害がある方と一緒に外出や旅行などに介助者として同行していました。食事や排泄そして入浴まですべて介助が必要な方々でしたが、いろんな方とご一緒させていただけた経験が現在の仕事に役立っています。私がこの仕事を始めた頃はまだまだ「バリアフリー」という言葉が一般的ではなく、飛行機に車いす利用者が10名搭乗と航空会社に伝えると「混雑したシーズンは困るんですけどねえ。」などとイヤミを言われた時代でした。それから12年、毎月1～2回のバリアフリースターを催行してきた中で、以前の名古屋空港、そして現在の中部国際空港は車いすご利用のお客様にとって一番対応が慣れた空港となり、今では障害のある方も楽しく旅行できる時代となりました。

今回、情報誌編集委員の方からの依頼で、旅行記を書かせていただくことになりました。とは言え、今まで出かけたすべての旅行について書いては膨大な量になってしまうため、特に印象に残った行き先や国について書かせていただこうかと思います。



モルジブ共和国へ

2000年8月にインド洋に浮かぶ真珠と呼ばれるモルジブ共和国へのツアーを計画して、7月に下見に行くことになりました。シンガポールを経由してモルジブのフルレ国際空港に到着したのは深夜でした。空港はとても小さく、飛行機への乗降設備はタラップしかありませんでした。トイレについては、事前に現地担当者に連絡しておいたこともあり、空港内では到着ロビーを出たすぐに身障者用トイレが設置してあることを聞きました。ホテルへの移動は空港島から直接、ホテル専用船で行くのが一般的で、実際のツアーで使う予定の大きな船（車いすのままデッキにいても十分な広さがある）が迎えにきていました。港は空港のすぐ横にあるので移動距離もほとんどありません。

翌日からホテルを幾つか見て回りました。基本的にひとつの島にはひとつのホテルというコンセプトのため、ホテル間の移動はすべて船です。事前に条件を出して現地で調べてもらってあった車

いすでアクセスしやすいホテルをいくつか見学に行きました。ホテルでは3食付きの設定なので、時間になってレストランへ行けばウェーターが決められたテーブルに案内してくれます。食事の時間も何時から何時までとなっているので、ツアー参加者が一度にレストランに行く必要はなく時間内であれば好きな時間に食事ができます。朝はバイキング方式ですが、昼と夜はフルコースのサービスとなります。美しい海を見ながら、「普段忙しい主婦もぐーたらになれる島」というツアー名にしようかと考えたほどのんびりとリラックスできるところでした。ツアー名はいくら何でも失礼かなと思い直しました。

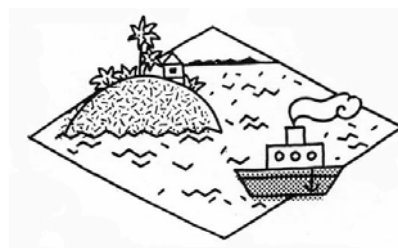


首都のあるマーレ市内にも現地担当者とは下見に行きました。街の中は歩いて回っても疲れないほどの広さなので、店の入り口や街の中の段差をチェックしながら、最大のチェックポイントである身障者用トイレのチェックをしました。ところが現地の人に聞いても「無い！」の一言で、市役所などにも無いという。現地の日本人担当者も見ることがないとあきらめムードでした。それでも私は食い下がって、「現地で一番新しい建物は？」と質問すると、「日本の援助で完成したモルジブ銀行の建物。」と答えが返ってきました。ではということでその建物に行ってみると、なんと！建物入り口には立派なスロープが、さらに中に入ってみると左側に車いすマークがついた広いドアがあるではないですか。早速ドアを開けて確認してみると、ちゃんと設備が整った身障者用トイレがデーンと構えていました。現地の日本人担当者に「あるじゃなか。」とイヤミをこめて伝えると、「穴があったら入りたい・・・」と恐縮していました。ということでトイレ問題は思ったより簡単に解決。あとは飛行機の乗降時にタラップを車いすごと抱えて乗り降りしてもらふスタッフの確保が問題でした。帰国の時に、利用するシンガポール航空のモルジブ空港支店長という人と話し合っ、「スタッフは準備しておくから、安心して来なさい。」と名刺まで貰いました。



いよいよツアー開始

いよいよ車いすをご利用のお客様達とモルジブへ出発。シンガポールからモルジブに行く飛行機は定員200名ほどの中型機だったので、機内中央のトイレ近くが良いとリクエストを入れておきました。そのわけは、ここの座席はビジネスクラスの座席となっていますが、エコノミーとして利用していることを下見の時に乗務員から聞き出していたからです。深夜の飛行となるので少しでもお客様に楽をしていただこうと「トイレの近くの席」と指定しました。おかげでゆったりしたリクライニングシートで5時間半の飛行時間を過ごしました。到着時に参加者の皆さんに「タラップで車いすごと抱えて降りていただきますのでご了承下さい。」とお願いに回っていたところ、例の航空支店長が乗り込んできて、「テレビの撮影が入るけどあなたのお客さんは大丈夫か？」と質問してきました。わけを聞くと「モルジブに初めて車いすの団体がやって来る。」とニュース番組が撮影にきていると言う。ところがなんと私たちを待っていたものは、飛行機に横付けできるハイリフターという車いす用の荷台昇降機がついた特別車でした。航空支店長が言うのには「あなたが車いすのお客様が多くやって来ると言ったから、本会社に頼んで購入してもらった。」とのこと。それまでも怪我をしたダイバーの人たちが、車いすを利用して飛行機に乗るときに苦労していたようでした。ちょうど良い機会に導入されたので恐い思いをせずに飛行機への乗り降りができるようになりました。ハイリフターで飛行機を降りる車いすのお客様を、撮影スタッフはしっかりと報道していました。





ホテルに到着したツアーメンバーはすぐに身体を休め、翌日からモルジブの海を眺めながらの3食昼寝付きの贅沢三昧を過ごすこととなりました。みんなで日を決めてホテルの船で隣のホテルまで遊びに出かけました。水深 10 メートルほどあるのに、海の底まで透けて見えるモルジブの海はみんなを笑顔にしてしまう不思議な魅力があるところです。船のスタッフの一人が突然海に潜り、しばらくして 30 cm ほどの海亀の子供を捕まえて船の上のみんなに触らせてくれました。



別の日に出かけた首都マーレの街では、港に着いた私たちをそのあたりで遊んでいる人たちみんなが手伝って、車いすごとひょいひょいと上陸させてくれ、その中の一人の青年が街を案内してくれると流暢な日本語で話し掛けてきました。「うまいこと言って、怪しいお土産屋さんに連れていくつもり？」と警戒する私に、「違う、違う、行かないよ。」と首を横に振って笑うだけ、悪い兄ちゃんではなさそうなので一緒に歩いてもらいました。段差などでは手伝ってくれるし、日本語が流暢なので観光案内をしてくれる、とてもありがたい存在でした。参加メンバーの中にイマセンの電動車いすを利用している女性がいたのですが、彼女は左足の先でコントローラを操っているた

め、街の人たちはどうやって車いすが動いているのか不思議そうに近寄ってきました。市場では出来たての「かつお節」をお土産にとタダでもらったり、ゲラゲラ笑いながらの街歩きとなりました。現地の兄ちゃんにTシャツが購入できる店を教えてもらい、みんなでショッピングをしたりと充実した時間を過ごしました。この兄ちゃん、最後にホテルの船に乗るまで手伝ってくれて、お金を請求するわけでもなく、単なるおせっかいやき？という人のようでした。現地の日本人担当者に聞いても、「そんな人が港にいた？」というだけで、今でも謎の現地人となっています。このツアーでひとつだけ残念なことは、モルジブのフルレ空港に到着するのも帰国で出発するのも深夜となるため、上空から真珠のように散らばる島々を見られないということです。しかし、リゾートホテルでのんびりしたり、透き通った海を楽しむならお勧めできる行き先です。

次回は山の好きな人のためにカナダやスイスのことについてご案内しようと思います。

(株) チックトラベルセンター

ハートTOハート事業部

松本 泰守(まつもと やすもり)

ハートTOハートを担当して12年目

〒460-0003

名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル6F

電話(052)222-7611

FAX(052)212-2778



チクトラベル ハートTOハート

最北の島へ 利尻・礼文4日間

国内の「〇〇富士」と命名されている山の中でも海上の富士・利尻富士の姿は秀逸です。日本最北端の町・礼文とあわせてご案内します。

期 間: 5月16日(金)～19日(月)
料 金: ひとり 178,000 円(2名1室)
出発地: 中部・羽田・大阪
ポイント: 添乗員同行・一部リフトバス利用

縦断・初夏の九州4日間

新緑の阿蘇・草千里を爽快にドライブ。人気の湯布院にゆっくり滞在するリフトバスで巡る九州への旅。

期 間: 6月4日(水)～7日(土)
料 金: ひとり 168,000 円(2名1室)
出発地: 中部・羽田・伊丹
ポイント: 添乗員同行・リフトバス利用

コペンハーゲンと森と湖の国 ノルウェー8日間

おとぎの国の首都デンマーク・コペンハーゲンより白夜の海を渡ってノルウェーのオスロへ。素晴らしい景観が連続するフィヨルドは登山電車とフェリーで巡ります。大海原を渡り、狭い谷の合間を分け入る北欧ならではの船旅を満喫します。

期 間: 6月22日(日)～29日(日)
料 金: ひとり 548,000 円(2名1室)
出発地: 中部・成田・関空・福岡
ポイント: 添乗員同行・リフトバス利用

動物王国

ケニア大自然の旅10日間

サバンナで暮らす動物達は涼しい気候と水がある場所を選んで生活しています。ホテルはその国立公園内にあり、過ごしやすい環境です。エミレーツ航空利用で所要時間が大幅短縮できました。

期 間: 8月19日(火)～28日(木)
料 金: ひとり 588,000 円(2名1室)
出発地: 中部・成田・関空・札幌・福岡など日本各地より可能
ポイント: 添乗員同行・専用サファリカー(日本車)利用

(予告) 北京パラリンピック観戦ツアー

出発日: 9月5日(金)

開会式とオリンピックグリーン内にてお好きなゲームをご覧いただけるチケットをご用意します。家族や友人が出場という方は、ホテルの延泊も受け付けます。

〔問い合わせ先〕 松本: matsu@tictravel.co.jp

■申し込み・問い合わせ■

チクトラベル ハートTOハート
 〒460-0003 名古屋市中区錦 1-20-19 名神ビル6F
 TEL: 052-222-7611 FAX: 052-212-2778
<http://www.tictravel.co.jp>

こちらからお伺いする旅行会社「トラベルパレット」

- ・お一人旅・少人数の方の添乗を開始しました。(旅程管理取得者・ヘルパー資格者が一緒します)
- ・打合せや見積もりも一緒させていただきます。(本人がお伺いします。)
- ・留学やホームステイもきめ細かくご相談させていただきます。
- ・郵送・FAX・メール・宅配、伺う時間帯も含め、フレキシブルに伺います。

★旅への思いを馳せる時から楽しみにしていただけるようお伺いいたします★

■申し込み・問い合わせ■

トラベルパレット 担当: 桜井・林
 〒453-0021 名古屋市中村区松原町 1-24
 COMBi 本陣(旧日本陣小学校) S204
 TEL: 052-526-8008 FAX: 052-483-8883
sakurai@t-palette.jp
http://www.combi-honjin.com/s/s204_1.html

JTBバリアフリープラザ

長門湯本温泉「大谷山荘」に連泊する 萩・津和野めぐりの旅3日間

山陰の小京都と呼ばれる城下町の萩・津和野。日本最大のカルスト台地秋芳台、車椅子で入洞できる鍾乳洞・景清洞、学問の神・太宰府天満宮をゆっくりとめぐります。

- ▼ 期 間：7月9日（水）～11日（金）
- ▼ 料 金：ひとり 169,000 円（名古屋発）
（一人部屋追加料金 25,000 円）
- ▼ 出発地：中部・羽田・伊丹
- ▼ ポイント：添乗員、旅行サポーター同行
・リフトバス利用

→ 大浴場での温泉入浴介助をツアーに組み込みました。現地の訪問介護事業所のヘルパーが2日間とも入浴のお手伝いをします。アルカリ性単純泉の大浴場で旅の疲れをいやしてください。

あの旭山動物園と お花満開の富良野をめぐり旅3日間

夏の北海道、大人気の旭川と富良野をめぐりベストコースです。大雪山旭岳から、夏の草花でカラフルな富良野のお花畑を3日間であまるコンパクトなおすすめツアーです。

- ▼ 期 間：7月17日（木）～19日（土）
- ▼ 料 金：ひとり 165,000 円（名古屋発）
（2名1室）
- ▼ 出発地：中部・羽田・伊丹
- ▼ ポイント：添乗員、旅行サポーター同行
・リフトバス利用

→ 今、日本一人気のある旭川市旭山動物園をゆっくり見学します。井上靖記念館、三浦綾子記念文学館を巡る旭川文学散歩も一味違ったおもしろさです。

芸術の都ロシア・

サンクトペテルブルグと北欧バルト

ロシア・フィンランド・ストックホルム8日間

ロシアのサンクトペテルブルグと北欧フィンランドとスウェーデンを結ぶ北欧バルト海1ナイトクルーズを盛り込んだ新コースです。サンクトペテルブルグには3連泊して世界的に有名なエルミタージュ美術館やエカテリーナ宮殿、ピョートル夏の宮殿にご案内致します。食にもこだわりいろいろなロシア名物料理もご堪能いただきます。白夜の北欧バルト海クルーズもおすすすめです。

- ▼ 期 間：7月14日（月）～21日（月）
- ▼ 料 金：ひとり 790,000 円（2名1室）
- ▼ 出発地：成田（成田空港以外の空港からのご出発を希望される方は、ご相談ください。）
- ▼ ポイント：添乗員、旅行サポーター同行
・リフトバス利用

→ 観光地バリアフリー度
石畳。バリアはありますがスタッフが
お手伝い致します。



■申し込み・問い合わせ■

〒108-0014 東京都港区芝 5-34-2 春日ビル1F
TEL: 03-3456-5411 FAX: 03-3456-5414
<http://www.jtb.co.jp/bfplaza/>

グルメな調査隊 第54弾

琉球ダイニング どなんちルーセント

場 所：名古屋市西区牛島町 6-1 ルーセントタワー2F

最寄駅：地下鉄東山線・桜通線・JR・近鉄『名古屋駅』下車
(ホーム～改札～地上 エレベータ有り) 徒歩 7 分

TEL/ FAX：052-551-6611

HP：www.jproject.jp/



名古屋市Hさんより

車いすでもゆったり入れます。チャーハンがヘルシーで、貝とか入ってだしがよく効いていておいしかったです！名駅からルーセントタワーまで連絡しているルーセントアベニューの壁面には動物たちのシルエットが物語をもって描かれていて見所です。

★ ジャンル 沖縄料理

昨年の 1 月、ルーセントタワーといっしょにオープンしたお店。沖縄料理を名古屋の人向けの味にアレンジしています。金山店が 10～20 代向けであるのに対し、こちらは 30～40 代の女性やビジネスマンの方向けに対象とするお客様のニーズに合わせたメニューづくりに取り組んでいます。

★ メニュー

ジーマーミー豆腐 480 円、海ぶどう 620 円、ゴーヤーチャンプル 690 円、豚肉とキムチのスタミナチャンプル 730 円、ヒラヤーチー（沖縄風お好み焼き）690 円、石焼き風カニチャーハンどなんち風あんかけ 920 円、サーターアングダーのバナアイス添え 580 円、沖縄風クレープホーポー（黒糖わらびもち入り）



★ ランチ

どなんち定食 1,250 円（日替わりチャンプル、ラフテー、ミニサラダ、鶏のスパイシー揚げ、太もずく、漬物、沖縄そば、ご飯、デザート）、半熟玉子のタコライス丼 860 円（※1）、ラフテー丼 860 円（※1）、沖縄そばとボロボロジュシーご飯セット 890 円（ボロボロジュシーご飯セ

ット 890 円（ボロボロジュシー、ソーキそば、小鉢、デザート）本日の日替わりランチ 850 円（メイン、） ※1 沖縄そば、小鉢、デザート付き

★ 店内の様子

入口：フラット、開放

店内：段差なし、カウンター6 席、テーブル 64 席、椅子移動可能（片側がベンチシート固定もあり）、テーブル高さ 71 cm、テーブル下 68 cm

★ お手洗い 同フロア内に男性用と女性用それぞれ障害者用トイレあり。1 F のエスカレーター奥に多目的トイレあり。

★ 駐車場 なし

★ 営業時間

11:00～15:00 (L.O.14:00)

17:30～23:30 (L.O.22:30)

★ 定休日 無休

★ その他情報

- ・予約受付可（1 名～20 名まで）、貸し切りは応相談。
- ・お誕生日の方にはスパークリングワインを 1 本プレゼント。

★ サポート倶楽部会員特典

ご飲食代が、2～3 名様で 500 円、4 名様ごとに 1,000 円割引。月・火曜日はフード 20%割引。歓送迎会コース 4,500 円を 4,200 円に割引。サポート倶楽部会員証を提示して下さい。※ランチ時不可



福祉用具のリサイクル情報 (08/4/14 現在)

欲しいもの、不要なものはありませんか？

リサイクルの輪を広げよう！

◆A J U自立の家は、なごや福祉用具プラザの中で、福祉用具のリサイクル品のコーディネートと福祉用具の販売、自立生活情報の提供などを行っています。

譲りますよ！ *金額の表示のないものは無料です。

★ベッド、床周り品

- ・3 モーターベッド (パラマウントベッド)
¥100,000 3 年使用
- ・2 モーターベッド (プラッツ)
¥60,000 1 年使用
- ・2 モーターベッド (フランスベッド) 7 年使用

★移動用品

- ・電動車いす (リクライニング)
¥50,000 5 年使用
- ・シルバーカー ¥13,000 未使用
- ・シルバーカー 数回使用

★入浴用品

- ・リフト マイティエイド80 (水圧式)
¥100,000 5 年使用
- ・リフト つるべF2セット ¥50,000 リサイクル品
- ・介助ベルト (入浴用) ¥1,000 未使用
- ・簡易浴槽セット 応相談 10 回位

★トイレ用品

- ・ポータブルトイレ (安寿家具調) ¥5,000 未使用
- ・家具調トイレ自立 未使用
- ・女性用差し込み便器 未使用

★その他

- ・リフト マイリフティ A ¥50,000 リサイクル品
- ・吸引器 ¥50,000 2 年半使用
- ・トーキングエイド ¥10,000 数年使用
- ・イージーターン ¥3,000 数回使用
- ・円座マット ¥2,000 2 年使用
- ・カートさすべえ 1 年位使用
- ・移動介助器 カールくん KH3B 5 年位使用
- ・吸痰用カテーテル 17 本 未使用
- ・酸素のホース カニニューラ 未使用
- ・靴 装具用の靴 右のみ
- ・靴 リハビリ靴 右のみ 28~28.5cm 未使用
- ・一本杖 未使用
- ・キャリングケース付きポータブルハンドシャワー

譲って欲しい！

★ベッド、床周り品

- ・1、2、3 各モーターベッド
- ・折りたたみベッドかソファベッド
- ・パイプベッド・和式寝台
- ・除圧マット・体位分散マット
- ・サイドテーブル (3 名待っています)
- ・ベッド手すり (パラマウント用)

★移動用品 (待っている人数)

- ・手動車いす (10 名) ・介助用車いす (8 名)
- ・電動車いす (18 名) ・電動四輪車 (2 名)
- ・歩行器 (4 名) ・電動車いすユニット

★入浴用品

- ・入浴用いす・バスボード・バスリフト・浴槽台

★トイレ用品

- ・ポータブルトイレ (折りたたみ式希望)
- ・ポータブルトイレ用簡易手すり

★その他 (待っている人数)

- ・おむつ処理器用カートリッジ・紙おむつ (7 名)
- ・防水シーツ、ベッドパッド
- ・スロープ [折りたたみ希望] (4 名)
[2M の板タイプ]
- ・円座・低反発クッション・体位変換クッション
- ・車いす用クッション・口ホクッション
- ・クッションチェア L サイズ
- ・子供用イス [パンダ2 1/2 位の大きさ]
- ・階段昇降機 [直線型] ・段差解消機 [据置型]
- ・吸入器 (2 名) ・吸引器 [馬力の強い物]
- ・リフト・電動昇降椅子・福祉車両・酸素測定器
- ・松葉杖 (2 名) ・杖 [肘の所で支えのある物]
- ・床立ち上がりバー・靴 [22.5 cm~23 cm]

「譲って」欲しい方、「譲りたい！」という方、
ぜひご連絡下さい。

＜福祉用具についての問い合わせ＞

●A J Uリサイクル相談事業部●

TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159

ホームページでもみることができます。

<http://www.aju-cil.com>

毎週木曜日の朝日新聞 (朝刊) にも、リサイクル情報が掲載されています。

読者のこえ

読者アンケートへのご意見 part1

平成20年1月から3月にかけて、よりよい紙面づくりのためにアンケートを実施しました。今回のアンケートはすでに購読している人だけでなく、まだ購読していない障害のある人や相談機関などのスタッフなどに趣旨を説明し



ご協力をお願いしました。お寄せいただいたご意見を今号から数回に分けて順次ご紹介させていただきます。

1,お疲れさまです。これからも期待しています。

⇒期待にこたえられるようがんばります。

2,いつも楽しく読んでます。いろいろなことが情報としてわかるのでたすかります。

⇒ありがとうございます。

3,私のやくに立ちますのでこれからもよろしくおねがいします。

⇒お役に立てて光栄です。

4,外国の障害者の生活、状況も知らせてほしいと思います。

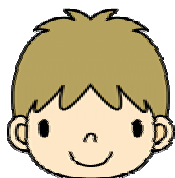
⇒分かりました。掲載時期は未定ですが、手始めにイギリスの障害者の生活を取り上げてみたいと思います。

5,いつも楽しみに読んでおります。これだけの情報をまとめるのに大変だと思いますがこれからもお願いします。

⇒はい。これからもがんばります。

6,「本人さん」という視点での構成になっており、私達のような支援させて頂く立場の者が、何をさせて頂けるか、謙虚に考える機会になります、大変ありがたく感じています。

⇒今後も当事者の視点を大切にします。



7,大学生の生活（例：福祉大で障害のある学生がどのように暮らし学校生活を送っているか）

⇒了解しました。できるだけ早い時期に掲載できるように努力します。

8,いつも、いろいろな情報をありがとうございます。

⇒皆様の声で構成しています。読みたいもの、知りたいこと、今後も教えてください。

9,いつも楽しく拝読させて頂いています。名古屋市のみでなく地方のことも含め、これからも様々な役立ち情報の掲載を益々充実させていって下さいね。

⇒はい。皆様からの情報提供も待ってます。

10,毎月発行希望

⇒う～っ!!! 体力的に厳しいかも・・・



11,防災情報について知りたい。

施設にいる人たちの体験談など。

⇒了解。災害弱者にこそ情報が必要ですよ。

12,毎号興味深く読ませていただいています。私の活動の知恵袋(?)にもなっています。これからもいろいろな情報をまっています。ご当人方の経験(身をもって)していただけることなので、いつも感心しています。

⇒今後も体当たり記事の掲載をめざします。

13,障害者運動についての情報、トーキングエイダーの会について(活動内容)、介護体験記(介護をうける立場での体験)。

⇒わかりました。介護体験は身をもって体験した記事の掲載をめざします。

14,新聞やテレビでは得られないきめ細かい情報を期待します。福祉制度など変更がある場合は、いち早く知りたいです。それも役所の難しい言葉ではなく、誰もが理解できる内容と言葉で・・・

⇒はい。できるだけ分かりやすい表現でお伝えするよう心がけます。

15,多岐にわたる情報がとてもわかりやすく、たのしいです。

⇒ありがとうございます。
今後も楽しい紙面となる
よう皆様のご意見をお願い
します。



16,体験や紹介記事が「脳性マヒ」に偏重されています。しかも若い層中心へ。たぶん編集側の事情があるのでは～。地区毎に「通信員」を募集し、共同取材もできるし脱皮して欲しい。

⇒ありがたいお言葉。「通信員」は、できるだけ早い時期に募集したいと思います。

17,毎回いろいろな情報に触れることができとても役立ちます。これからは体験談なども重要だと思いますが、それよりも就労や交通アクセス、福祉制度等の現在の状況を中心に多く取り上げてください。また、名古屋や愛知県以外の情報も増やしてもらいたいです。

⇒はい。情報収集に努力いたします。

18,いつもありがとうございます。今は家族に障害者がいますので、その面でも助かっています。

⇒役に立つ情報を発信できるよう皆様からのご要望を心からお待ちしています。

19,制度の事については、とても勉強になります。レアなレジャー情報が欲しいです。

⇒レアな情報、いいですね。私も努力します。読者の方からも投稿お願いします。

20,自分自身は障害はない（今のところ）ですがさまざまな情報が面白い。今後も多様に作ってください。

⇒多様さ。これを忘れないようにいたします。

21,いつも取材お疲れさまです。情報誌をいつもワクワクしながら読んでいます。これからも頑張ってください。

⇒ありがとうございます。励ましの言葉が次号へのエネルギーになります。

22,手元に情報誌が届いた時、イベント etc の期日が切れている事がしばしば有ったので、もっと早く？手元にほしいです。

⇒申し訳ありませんでした。お手元に届く時期を考えた情報提供を心がけます。

23,毎回読みごたえがあって発行を楽しみにしています。

⇒ありがとうございます。今後も楽しんでいただけるよう創意工夫に努力します。

24,いつも楽しくよませてもらっています。いろんな情報のせて下さい。

⇒はい。いろんな情報収集に努めます。

25,宿の紹介には、トイレ・バスがどうなっているか写真があるといい今回の亀戸ホテルも記事（文章）だけでは自分が使えるどうか判断できないから残念でした。

⇒申し訳ありませんでした。できる限り写真など具体的な情報提供に心がけます。

26,いつも、楽しく読ませて頂いています。

⇒ありがとうございます。いつまでも飽きないような紙面づくりに努力します。

27,ざーと読んだり、ゆっくり読んだりいろいろですが、購読続けているというのは、やはり障害当事者の目で書かれ、ていねいで読み易いからです。これからもよろしくお願いします。特に今号は良かったです。

⇒今後も当事者の視点からの紙面づくりを続けていきたいと思っています。

28,いつも楽しく読んでいます子供の頃はほとんど施設で生活していましたがそれなりに楽しんでいました。今は、実家にてデータ入力の仕事をしています。友との話しがしにくいのが…家族以外の人とのふれあいなどが必要な事だと、この頃特に感じてしまっています。

⇒イベント情報なども掲載していきます。よろしければお友達とご参加ください。



まだまだ、たくさんのご意見をいただいています。つづきは次号に掲載させていただきます。

いろいろ情報

今回の特集は、5月～6月に見ごろとなる花園の紹介です。



■ カキツバタ

京都、平安神宮。平安遷都1100年を記念して明治28年に建立されたそうです。ここには約3万平方メートルの神苑（回遊式庭園）があり、紅枝垂桜が有名です。また、蒼竜池に咲くアヤメ、カキツバタ、花菖蒲は例えようもない程美しいといわれています。見ごろは例年6月中旬ごろです。神宮内には車いす対応トイレ1箇所あります。車いす対応スロープも設置（本殿を除く）されています。拝観時間が時期によって異なります。以下をご参考ください。

神苑（回遊式庭園）の拝観時間

8:30～17:30（11月～2月は8:30～16:30。

3/1～14・9～10月は8:30～17:00）

本殿の拝観時間

6:00～18:00（11月～2月は6:00～17:00。

3/1～14・9月～10月は6:00～17:30）

<関連ホームページ>

<http://www.heianjingu.or.jp/>

会場：平安神宮（へいあんじんぐう）

住所：京都府京都市左京区岡崎西天王町97

交通：(1)JR 京都駅から市バスで

(2)地下鉄東西線東山駅から徒歩で

(3)名神高速道路「京都東」から三条通りを西へ約20分

駐車場：ご相談してください

料金：神苑拝観料600円（参拝は無料）

問合せ先：075-761-0221



■ バラ

平成7年開催「花フェスタ'95ぎふ」の会場を再整備して設けられた花フェスタ記念公園は、世界一のバラ園といわれています。年間を通し各種イベントが催されており、現在行われている春まつ

りは5月11日まで開催されます。今回ご紹介する「花フェスタ2008 春のバラまつり」は5月17日（土）～6月29日（日）まで開催され、期間中は「大道芸人まつり」、「バラ満開！音楽ストリート」、「春のバラガイドツアー2008」、「コメディミニサーカス」などが予定されています。開催日時をホームページなどでご確認のうえお出かけください。ベビーカー、車いすの無料貸し出しあり（台数に限りあり、予約なし）。

※4・5・6月は無休。5/24（土）～6/8（日）は、8:00～20:00まで開園時間延長！

<関連ホームページ>

<http://www.hanafes.jp/hanafes/index.html>

会場：花フェスタ記念公園

住所：岐阜県可児市瀬田1584-1

交通：(1)名鉄、JR「新可児」から東鉄バス約10分

(2)東海環状自動車道「可児御嵩」から約5分

(3)中央自動車道「多治見」から約20分

(4)岐阜・大垣方面からは国道21号を、名古屋方面からは国道41号を、美濃加茂市・

可児市方面に向かい「中濃大橋南」を左折、しばらく直進し「柿田」を右折。約60分。

駐車場：無料（東駐車場700台／西駐車場1000台）

料金：大人800円、高校生500円、小中学生300円（※季節ごとに異なる）

問合せは9:00～17:00（火曜定休）に下記まで。

電話 0574-63-7373 FAX 0574-63-7374



■ アジサイ

三河湾、蒲郡（がまごおり）温泉郷の一つ、形原（かたはら）温泉にある補陀ヶ池周辺が5万株ものアジサイが咲き競うあじさいの里です。6月1日～6月30日まであじさい祭。期間中は午後9時30分までライトアップされ、青、ピンク、白など120種類を超える色とりどりのアジサイの幻想的な姿が見られます。斜面となっている会場内は階段のため車いすでの移動は困難ですが一面

に広がるあじさいは見ごたえあり。車いす対応トイレ 1 箇所あり。事前に連絡すれば車いすでも入りやすいゲート（通常は閉まっている）からの入場もできるとのこと。また、隣接する補陀ヶ池の遊歩道では「日本のあじさい展」が開催され、一部を除き車いすでの鑑賞可能です。

<関連ホームページ>

<http://www.katahara-spa.jp/ajisai/map.htm>

会場：形原温泉あじさいの里

住所：愛知県蒲郡市金平町

交通：東名高速道路「音羽・蒲郡」より「オレンジロード」（有料）経由で約 30 分。

駐車場：ご相談してください

料金：300 円（障害者と付き添いは無料）

問合せは形原観光協会まで。

TEL0533-57-0660 FAX0533-57-0661

E-Mail：info@katahara-spa.jp

地域福祉セミナーのご案内

名古屋市は障害者基本計画で「障害のある人もない人もお互いに人権を認め合い、共に生きる社会」をめざすと謳いました。生活のあらゆる場面でのバリアフリー・障害者の自己選択と自己決定に基づく利用者本位の支援と生涯を通じての総合的かつ効果的な施策を推進し、障害者の地域移行・就労支援・地域生活支援の充実を図るとしています。このセミナーは、障害当事者や福祉関係者はもとより地域の人たちとともに「ともに生きる社会」をどのように実現していくか、そのために当事者および地域の人たちの役割について参加者とともに考えようとするものです。

■日 時：平成 20 年 4 月 26 日（土） 午後 1 時 30 分より 4 時 30 分

■ところ：高齢者就業支援センター大会議室（御器所ステーションビル 5 F）

■内 容：基調講演「ともに生きる社会を創る」中田 實氏（愛知江南短期大学学長）

■シンポジウム：シンポジスト 曾田忠宏氏（名古屋市福祉のまちづくり推進委員会・委員長）、
高間 睦氏（中日新聞記者）、名古屋市健康福祉局

コメンテータ 中田 實氏（愛知江南短期大学学長）

司 会 伊藤葉子氏（中京大学講師）

■参加費：200 円（資料代）

■主 催：福祉施設を考える会、愛知県重度障害者団体連絡協議会、社会福祉法人 AJU 自立の家

■後 援：名古屋市、名古屋市社会福祉協議会、昭和区社会福祉協議会

■申込及び問合せ：社会福祉法人 AJU 自立の家 地域福祉セミナー実行委員会

〒466-0035 名古屋市昭和区松風町 2-28 ノーブル千賀 1F TEL052-841-6677 FAX052-841-6622



第 11 回国際福祉健康産業展 ウェルフェア 2008

福祉車両・車いす・介護ベッド・入浴機器などの福祉・介護用品、バリアフリー住宅関連製品、介護予防機器など、福祉・健康に関わる製品やサービスを一堂に集めてご紹介する総合展示会です。

■日時：平成 20 年 6 月 6 日（金）～6 月 8 日（日） 午前 10：00～午後 5：00

■場所：ポートメッセなごや（国際展示場）名古屋市港区金城ふ頭 2-2 TEL052-398-1771 FAX052-398-1785

■出展内容：福祉車両、移動機器／福祉用具及び健康関連製品／福祉・医療施設用設備・機器／バリアフリー住宅設備・機器／ユニバーサルデザイン関連製品／福祉、健康関連サービスなど

■入場料：無料（講演会・シンポジウム・出展者ワークショップ・主催者企画展示なども予定しています）

<問合せ>名古屋国際見本市委員会事務局 〒464-0856 名古屋市千種区吹上二丁目 6 番 3 号（名古屋市中企業振興会館 5 階）

TEL.052-735-4831 ◆Homepage <http://nagoya-trade-expo.jp/welfare/> ◆E-mail welfare@nagoya-trade-expo.jp

ゆうび福祉タクシー

北海道旅行を計画の方に耳より情報です。千歳空港の近くにある「ゆうび福祉タクシー」ではいくつかの観光プランをたてています。移動手段の一つとしてご参考にされてはいかが？ ご紹介する内容はトヨタラクティス(車いす 1 台の他 2 名乗車可能、車いすの使用がない場合は 4 名まで乗車可能)での料金です。

①千歳空港からの「直行プラン」

到着地	距離の目安	料金の目安
札幌市中心	50 km	12,050 円
小樽市内	80 km	18,850 円
洞爺湖温泉	120 km	27,750 円
登別温泉	75 km	17,600 円
支笏湖温泉	25 km	5,800 円

※ヘルパー運転手による乗降介助料を含んでいます

※高速料金を含んでいます

②千歳空港からの「観光、フリープラン」

利用時間	料 金	※ヘルパー運転手による乗降介助料を含んでいます
3 時間まで	28,000 円	
4 時間まで	36,000 円	
6 時間まで	52,000 円	
8 時間まで	68,000 円	

※高速料金を含んでいません。利用希望時に実費負担となります

※駐車料金が発生する場合は実費負担となります

③千歳空港からの「観光、コースプラン」

コース内容	所要時間	料金
千歳空港→千歳鮭のふるさと館→札幌ビール千歳工場→支笏湖温泉	4 時間	36,000 円
千歳空港→札幌市内観光→札幌市内ホテル	5 時間	44,000 円
千歳空港→小樽市内観光→札幌市内ホテル	5 時間	44,000 円
千歳空港→旭山動物園→札幌市内ホテル	8 時間	68,000 円

※ヘルパー運転手による乗降介助料を含んでいます

※高速料金を含んでいません。利用希望時に実費負担となります

担となります

※駐車料金が発生する場合は実費負担となります

これらのプラン料金の他に、距離制の料金もありますので、お得になる方法を選択できます。

基本料金 (1.4 km まで) 400 円

追加料金 (500 m まで) 100 円

車いすで乗車する場合の乗降介助料 600 円

そのほかのサポートとして、看護師、ヘルパー、手話通訳者もお願いできます。

●看護師のサポート	利用時間	料 金
	2 時間まで 以後 1 時間毎	20,000 円 10,000 円
●ヘルパーのサポート	利用時間	料 金
	2 時間まで 以後 1 時間毎	10,000 円 3,000 円
●手話通訳者のサポート	利用時間	料 金
	2 時間まで 以後 1 時間毎	15,000 円 5,000 円

ご利用に当たっては、事前予約が必要です。混雑時にはご希望に添えないこともあるとのこと。お早目の予約・打ち合わせをお勧めします。

ご紹介した小型車トヨタラクティスの他に、大型車トヨタハイエースワイドもあります。料金等の詳細については直接お問い合わせください。

■有限会社 優美

ゆうび福祉タクシー 電話 0123-22-5511

みんなの林間学校

気が早い話かもしれませんが、夏休みのプランにユニバーサル体験プログラム「みんなの林間学校 in 富士河口湖」はいかがでしょうか。

今年のコンセプトは「エコ」と「ユニバーサルデザイン」。障害のある人もない人も、日本の象徴富士山のふもとで、共に遊び共に学び楽しみながら地球の未来を考えてみようというものです。

日程は 7 月 26 日 (土) からの 1 泊 2 日プランと 2 泊 3 日プランがあり、宿泊先は富士レークホテル

(ホテルプラン) です。2泊3日プランはホテルプランとロッジプラン(ウィルダネス・パーク・ロッジ)との選択ができます。各プランの料金は以下の通りです。

1泊2日 ホテルプラン(7月26日~27日)		
部屋の定員	4~5名利用	2~3名利用
大人料金	30,000円	32,000円
子ども料金	27,000円	29,000円

2泊3日 ホテルプラン(7月26日~28日)		
部屋の定員	4~5名利用	2~3名利用
大人料金	39,000円	43,000円
子ども料金	36,000円	40,000円

2泊3日 ロッジプラン（7月26日～28日）		
部屋の定員	2～4名利用	カヌー体験が1回含まれています
大人料金	30,000円	
子ども料金		

プログラム1日目は「廃油を利用したエコキャンドル作り」、クイズや紙芝居で富士山を知る「富士山学」があります。2日目は「アウトドアクッキング」を楽しんだ後、天をも焦がす「キャンプファイヤー」。3日目は河口湖に感謝してごみを拾いながら歩く「河口湖エコウォーキング」となっています。

また、2日目の午前中は林間学校チャレンジプログラムと題して、3種の体験プログラムが用意されています(いずれも体験料金が必要)。まず、樹上の世界を楽しむ「バリアフリーなツリークライミング」では、参加者の身体状態に合わせた案内をしてくれるので希望者は相談してください。料金ひとり5,000円です。次に、河口湖で楽しむ「カヌー体験」では、身体の状態に合わせてカヌー体験を案内してきた実績をもつ指導者が案内します。カヌーから眺める富士山はサイコー!!だそうです。料金ひとり5,000円です。そして、河口湖畔、大石地区が名産のブルーベリーを使った「ブルーベリージャム作り」では、ブルーベリー狩り(食べ放題です)を楽しんだ後、自分で狩ったブルーベリーからオリジナルジャムを作ります。料金ひとり2,000円です。

■申込み締切り 2008年6月27日(金)

■お問合せ申し込み

クラブツーリズム株式会社ライフケアサービス事業部

TEL03(5323)6915 FAX03(5323)6987

E-Mail lifecare1@club-tourism.co.jp

『車いすでいりゃあせ

名古屋めしバリアフリーマップ

名古屋名物と言えば、「味噌煮込みうどん」「ひつまぶし」「味噌かつ」「きしめん」「手羽先」など、全国的にもすっかり有名、美味しい物がたくさんあります。しかし、グルメ雑誌や観光雑誌などではお店のバリアフリー状況はわかりません。そこで、「名古屋めし」のお店の調査には車いす利用者が同行し、バリアフリー状況を冊子にまとめました。名古屋名物の楽しいコラムなども紹介しています。この冊子を持って一人でも多くの方が観光とともに名古屋めしを楽しんでいただければと思います。ぜひ、名古屋へお出かけください。

■A5サイズ/43軒掲載/全38ページ/カラー
価格:400円(送料別途)

■問い合わせ: NPO法人くれよんBOX

名古屋市昭和区小桜町3-11

TEL052-733-5955 FAX052-733-5956

E-Mail question@crayon-box.jp

ホームページ www.crayon-box.jp

※冊子に掲載できなかった詳しい情報をくれよんBOXのホームページで紹介します。(4月中旬予定)



医療相談室

長年、診療機関で障害を持つ仲間の医療ケアに携わってみえた「リハビリテーション医の万歳登茂子先生」のご協力で開催。

《相談日》5月17日、31日

6月21日

いずれも土曜日、予約制、30分程度
時間は要相談

《対象》障害を持っている人

《費用》無料

《受付》自立生活情報センター

TEL 052-841-6677

FAX 052-841-6622

E-mail johoh-c@aju-cil.com

《場所》名古屋市昭和区恵方町2-15

(社福) AJU 自立の家 サマリアハウス内相談室



やさしい住まいの支援ネット

障害当事者、福祉、医療、建築関係者が有志で開設し、住宅の改造などの相談で対応。

《相談日》5月17日、6月7日、21日

(いずれも土曜日) 午後1時半から

《費用》無料

《受付》サマリアハウス 浅井

TEL 052-841-5554

FAX 052-841-2221

E-mail sumai-sien@freeml.com

《場所》名古屋市昭和区恵方町2-15

(社福) AJU 自立の家 サマリアハウス内

ホームページができました!!

<http://sumai-sien.hp.infoseek.co.jp/>

生活の道具相談室

障害当事者、福祉、医療関係者が有志で開設。
道具の導入相談、道具の工夫や制作に対応。

《相談日》5月17日、6月7日、21日

(いずれも土曜日) 午後1時半から

※受付、場所は生活の道具相談室と同じ

編集後記

4月を迎えて福祉情報誌の読者の皆様も新たなスタートを切られた方もみえると思います。そんな方々も、少しずつ新しい環境に慣れたころでしょうか。皆様の前途に幸多きことをお祈りしています。

読者の皆様やまだ購読していない障害のある人、相談機関等にご協力を頂いてアンケートを実施しました。今後の皆様への情報提供の方法等、アンケートの結果を踏まえて読者のニーズに応じていける福祉情報誌でありたいと思っています。今後とも福祉情報誌をよろしくお願い致します。



情報募集中!

自立支援法への意見、町で見つけたアクセシブルな穴場、あれ?ちょっとおかしいな?と思う車いすトイレの造り、親切なお店、グルメなお店、みんなに聞いて欲しい事件などなど、皆さんからの情報をお待ちしています。

ぜひぜひ 編集部までご連絡下さい



■編集部

TEL 052-841-9888

FAX 052-841-3788

E-mail f-johoh@aju-cil.com

お待ちしております

隔月発行

年間購読料 1,500円

振込先: 郵便局 00890-0-90573